

第28号

発行日
2021. 3. 22

Super Highway

JR東労組バス関東本部



JR東労組ホームページ

バス関申
第5号

「伊那バスターミナル乗り入れに関する緊急申し入れ」 3月19日開催 第2回団体交渉を行う！

3月12日に「伊那バスターミナル乗り入れに関する緊急申し入れ」について趣旨説明を行い議論しました。その議論を踏まえ、3月19日に団体交渉を行い、議論を深めました。主な議論は以下の通りです。

1. 中央道支店の在来線に関する将来展望を明らかにすること。 **会社回答** 特徴的な議論

中央道支店は現在では高速線の運行は縮小しているものの、伊那市と包括連携協定を締結するなど、関係機関と連携の上、一般線の運行に注力する考えである。

- ・現在行っているコミュニティバスの運行について拡大を検討している。
- ・中長期的には旅客の減少に伴い路線を廃止するのではなく、契約輸送に変えるなど考えている。

2. 伊那市駅への乗り入れを今後も継続すること。やむを得ず伊那市駅への乗り入れを中止する場合は、「廃止」ではなく「休止」とすること。

本年4月1日の高遠線のダイヤ改正に際して、伊那市駅バス停については廃止するとともに伊那バスターミナルに新たに乗り入れることとする。

- ・伊那市が必要と判断すれば、伊那市駅への乗り入れを手続きすることは可能である。今回は廃止と判断した。

3. 伊那バスターミナルに入線することによる、効果と増収に寄与する根拠を明らかにすること。また、検証したデータがある場合は示すこと。

伊那バスターミナルには、他社を含むバス路線（高速線・一般線）、乗合タクシー等が乗り入れており、旅客の乗り換え利便が向上することが期待される。

- ・支店として利用されるお客さまに直接聞いたが、伊那市駅でなければならないという声はなかった。
- ・現場での検証については、手法は支店長に委ねるが、何らかの対応をするよう伝える。

4. 伊那バスターミナル構内転向基準図を明らかにすること。

基本的に他路線（伊那本線・市街地循環バス）と同様であり、3月16日より順次周知している。

組合: 構内転向基準図を用いて現場で検証していない。現場を見るべきだと指導してもらいたい！ **指導する**

5. JR飯田線との接続の対策を明らかにすること。また、列車異常時の対策を明らかにすること。

6. 観桜時期や紅葉時期など多客が見込まれるシーズンの対策を明らかにすること。

- 5. 列車との接続については、伊那市駅と伊那バスターミナルが至近であること、また、伊那北駅での乗り換えも可能であり、異常時には必要に応じて案内・誘導を行うこととしている。**観桜時期に案内が**
- 6. 前項同様、必要な案内・誘導を行うなど、旅客不便とならないよう対応する考えである。**立つことを確認！**

- ・バス停の移動については、鉄道で「駅前からバスターミナルに移動しました」と案内してくれている。

7. 本件に関しての社員説明会を早急に開催すること。8. 今後、施策を進めるにあたり、前広な説明を行うこと。

7. 3月15日より順次開催する。8. 施策については、その性質等を踏まえつつ、可能な限り早期に説明を行っていく。

- ・市が公表するタイミング等も踏まえ慎重に対応した。社員の声を広く聞いていくスタンスは変わらない。
- ・職場を良くしていきたいということについては一致できる。

組合員が安心して、働きがいのある職場をつくるため議論をつくり出そう！